



NO.3

奈良県 地域創造部 こども・女性局 こども家庭課

テーマ

児童相談所における
記録業務の効率化・標準化



児童相談所の業務効率化・支援の質向上に向けた共創プロジェクト

～児童相談所における 各種業務の効率化・標準化～



令和8年7月15日



奈良県

奈良県の児童相談所の概要

中央こども家庭相談センター



管轄市町村

15 市町村

大和郡山市、天理市、桜井市、生駒市、宇陀市、
平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、
三宅町、田原本町、山添村、曽爾村、御杖村



管内18歳未満人口 63,030 人



主な所掌

虐待対応・発達検査・相談援助・一時保護・
措置・家庭支援・一時保護所の運営 等

高田こども家庭相談センター



管轄市町村

23 市町村

大和高田市、橿原市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、
高取町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、
大淀町、下市町、明日香村、黒滝村、天川村、野迫川村、
十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

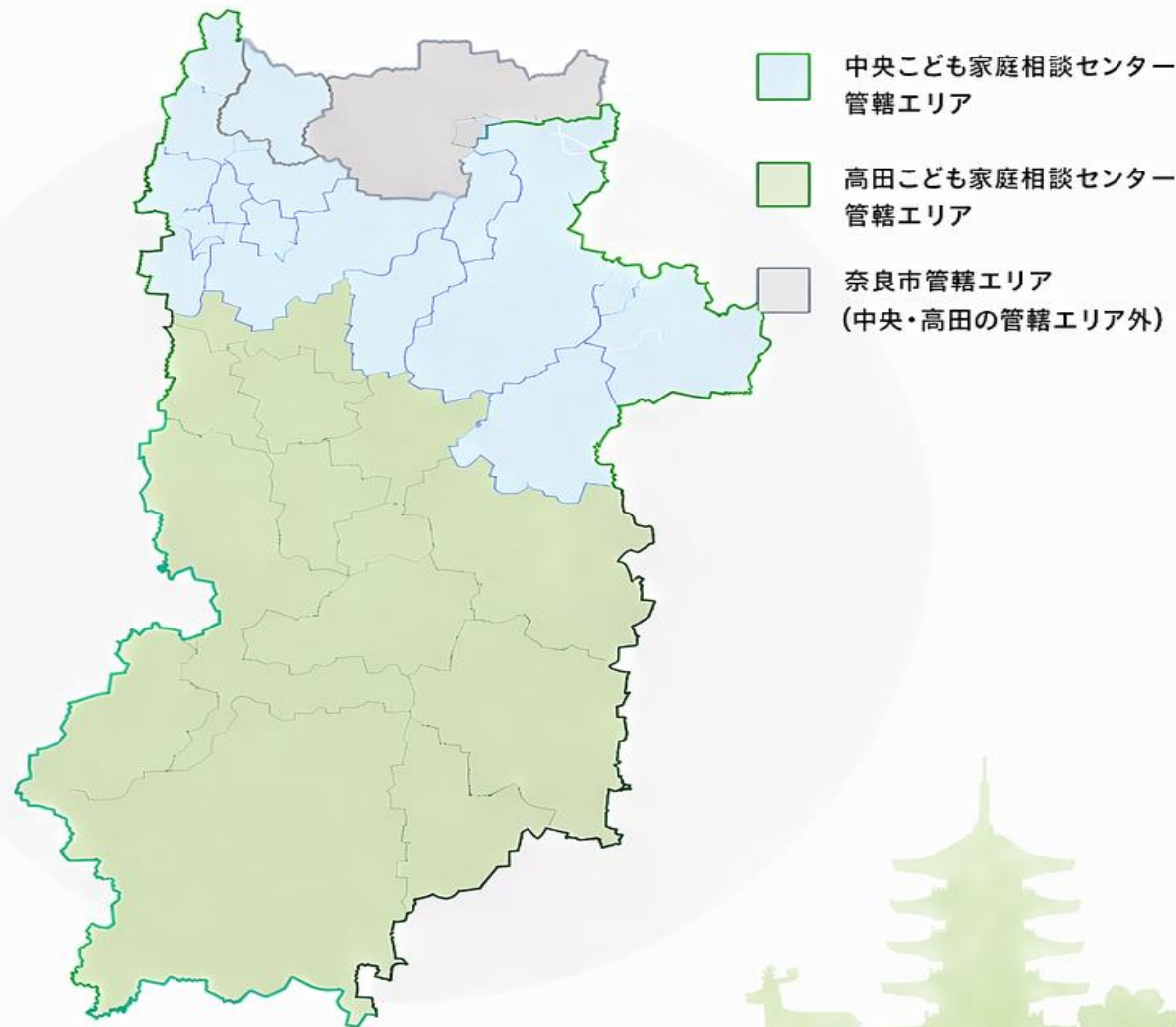


管内18歳未満人口 64,583 人



主な役割

虐待対応・発達検査・相談援助・一時保護・
措置・家庭支援 等



※奈良市内は奈良市こども家庭センターが管轄

本県の児童相談所を取り巻く状況



虐待相談件数

区分	H26（平成26年度）		R6（令和6年度）
奈良県	1,465件	→	1,630件
全国	91,139件	→	217,975件

少子化にもかかわらず、**件数は増加**

現場が抱える課題



児童相談所では、以下のような記録・事務業務が日常的に発生しています。



面接記録



訪問記録



電話対応記録



ケース経過記録



会議資料



各種報告書



現場が抱える課題



※一部の画像は生成AIにより作成したイメージ画像です。

現場が抱える課題



目指す姿



AI等のデジタル技術を活用し、児童相談所業務の効率化・標準化を推進することで、次の実現を目指します。



○ 職員が子どもや家庭への支援により多くの時間を充てられる環境



○ 人材の確保・定着や支援の質の向上



○ 個人の経験やスキルに過度に依存しない持続可能な組織運営



目指す姿



これらの取組により、具体的には、次の実現を目指します。



記録時間の削減



記録品質の標準化



知識・ノウハウの
共有・継承



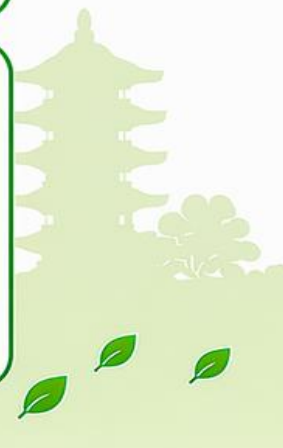
情報検索の効率化



ケース支援体制の強化



ケース・業務の可視化



想定テーマ（例）

■ 記録・文書作成支援

- 音声データからの記録作成支援
- ケース記録作成支援 AI



■ 情報検索・活用支援

- ナレッジ検索システム
- 生成 AI を活用した情報検索



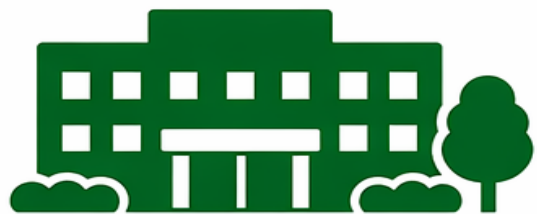
■ ケースマネジメント支援

- ケース記録の可視化・分析支援
- ケース進捗の見える化



※ 上記は例示であり、これらに限定するものではありません。児童相談所業務の効率化、
職員負担軽減及び支援の質の向上に資する提案を幅広く歓迎します。

奈良県が提供できるもの



児相現場における
実証フィールド



現場職員等との対話



業務知見



各種業務資料・
マニュアル



県内市町村との
連携状況



こども家庭庁補助金等の
活用支援

事業者にとってのメリット



全国の児童相談所が抱える共通課題への挑戦



福祉DX分野の先進事例創出



現場との共同開発機会



自治体向けサービス展開への発展可能性



社会的インパクトの高いプロジェクトへの参画

本日お集まりの皆様へ



児童相談所は、**こどもの命と権利を守る最前線**です。

現場にはまだ多くの**改善余地**があり、

民間事業者の技術や発想が**大きな力**となります。

奈良県は、単なるシステム調達ではなく、現場と事業者が
ともに課題解決を進める「**共創型プロジェクト**」として、
児童相談所DXのモデル構築を目指します。

皆様のご**提案・ご参画**をお待ちしています。